

フォルテピアノの特性を踏まえた 古典派ピアノ曲の演奏法

～現代ピアノで「らしく」弾くためのヒント～



小倉貴久子 (おぐらきくこ)

東京藝術大学を経て同大学大学院ピアノ科修了。アムステルダム音楽院を特別栄誉賞”Cum Laude”を得て首席卒業。第3回日本モーツァルト音楽コンクールでピアノ部門第1位。1993年、ブルージュ国際古楽コンクールでアンサンブル部門第1位。1995年、同コンクールのフォルテピアノ部門で第1位と聴衆賞を受賞。以後、ソロ、室内楽、協奏曲など、バロックから近現代まで幅広いレパートリーで活躍。TV、ラジオへの出演も多い。これまでにCDを40点以上リリース。それらの多くが朝日新聞、読売新聞などの各新聞紙上や『レコード芸術』誌等で推薦盤や特選盤に選ばれている。CD「イギリス・ソナタ」は平成24年度文化庁芸術祭レコード部門〈大賞〉受賞。東京藝術大学古楽科非常勤講師。

ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンなどの古典派ピアノ曲が作曲された当時のピアノ（フォルテピアノ）は、現代ピアノとは違ったしくみを持っています。どのような違いがあるのでしょうか。また、これらの作品を現代ピアノで演奏する際、フォルテピアノの特性をどう活かしたらよいのでしょうか。そして、古典派時代にみられた特有の奏法とは？

フォルテピアノの第一人者が、現代ピアノの実演やDVDの映像などを交えながら伝授します。

《 講座内容 》

- ◆作曲家がイメージしたのは「この楽器」での演奏だった！
フォルテピアノの特徴
- ◆古典派ピアノ作品を弾く・教える前に知っておきたい
古典派時代特有の奏法
- ◆演奏のレベルと説得力がアップする
フォルテピアノの特徴を現代ピアノでの演奏に活かす工夫
「こっさてどう弾くべき？」のお悩みが解決するかもしれません！

●日 時

2018年 月 日 ()
00:00 ~ 00:00

●教 材 「ソナチネ音楽帳・古典派前期〔ガルツピからJ.C.バッハへ〕/
古典派後期〔モーツァルトからディアベリへ〕標準版 New Edition」
(音楽之友社) ※当日会場でも販売いたします

●会 場

●お問合わせ・お申込み先

●受講料 (税込)

一 般 0,000 円
会 員 0,000 円

キリトリ線

行 申込日 月 日

小倉貴久子 公開講座

年月日 ()

「古典派ピアノ曲の演奏法」

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種別	会 員 ・ 一 般		

※〇印をおつけください。ご記入いただいたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。